

祝 辞

P T Aを代表いたしまして、一言 お祝いの言葉を述べさせていただきます。本日、白樺学園高等学校第60回卒業式が 芽室町長様、学園理事、同窓会ほか関係各位のご臨席を賜り、また、多くの保護者の皆さんが見守る中、静肅にかつ盛大に挙行されますことを、心からお祝い申し上げます。

そして、142名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年前、期待と不安の表情で白樺学園に入学された皆さん、3年間という時間は皆さんにとってどんな時間だったのでしょうか？ 入学したときに思い描いた通りに過ごすことができたのでしょうか？ 夢や目標に向かって勉強や部活動に取り組み、満足感を味わっている方、学校祭や修学旅行など学校行事が楽しい思い出として残った方も多いでしょう、反面、悔しい思い出や思い通りの学生生活を送れなかった方もいらっしゃると思います。

皆さんは、この素晴らしい校舎と設備、そして優秀な先生のおられる学校で、知性を磨き、スポーツで体力を養い、沢山の友人と出会い、心身ともにたくましく立派に成長を遂げられました。

これからさらなる飛躍を目指して旅立っていただきたいと思います。

ここで、皆さんに一つお願いがあります。皆さんのお父さん、お母さん、祖父母の皆さんなど これまで支えてくださったご家族に、感謝の気持ちを伝えてください、経済的なことや、送り迎え、お弁当づくり、そして学校生活で悩んだときに支えてくれたこともあったでしょう。

皆さんが思っている以上にご家族は心配し、気に掛けてくれています。きっと、皆さんの言葉でこれまでの苦労は吹き飛んでしまうと思います。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

個人的ではありますが、微力ながら一年間、会長という立場を努めさせていただき、会員の皆様にはP T A活動へのご理解とご協力、各種事業への積極的な参加に心から感謝申し上げます。今年度は子供達の活躍が数多く新聞等で報道され、白樺学園高等学校の名を目にする機会が増えました。

これも長原理事長、嶋野校長先生をはじめとした教職員の皆様の熱意あるご指導とご努力のたまものであり心から感謝を申し上げます。今後とも、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

新たな命の息吹が感じられる輝かしい春が近づいてまいりました、卒業生の皆さんはそれぞれの道に進み、在校性の皆さんも進級し、新しい春を迎えることになります。新たな春に向かって皆さんが健康で幸せに満ちた生活を送られること、そして白樺学園高等学校の益々のご繁栄をご祈念申し上げ、簡単措辞ではありますが、P T Aを代表しての祝辞とさせていただきます。

令和2年3月1日

白樺学園高等学校P T A会長 青 木 哉